

計画事業番号	00035	事務事業名	救急医療推進事業	担当部署	保健福祉部健康推進課	電話	1215
--------	-------	-------	----------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	北広島市夜間急病センター運営交付金交付要領、北広島市救急医療普及事業実施要領				
事務事業開始年度	昭和48年	個別計画等					
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章)	支えあい健やかに暮らせるまち
	(第 1 節)	健康づくり・地域医療の充実
	(施策 3)	医療体制の充実
2 対象	北広島医師会、北広島市夜間急病センター、千歳歯科医師会	
3 目的と内容	<p><目的・概要> 市民の夜間や休日の急病に対応するため、北広島医師会の協力を得て、夜間急病センターの運営と在宅当番医制により、毎日24時間体制で市民の安全、安心を図る。また、休日の歯科救急についても、北広島市内の歯科医院が加入する千歳歯科医師会の協力のもと受診体制を図る。 ・夜間急病センター管理運営委託(指定管理)・夜間急病センター交付金・救急医療啓発・急病医療負担金(在宅当番医制)・救急歯科医療負担金 【前回推進計画との変更点】 夜間急病センターが社会医療法人即仁会が旧北広島病院跡地に建設する施設へ移転整備されることに伴う賃貸料が増となる。(積算中)</p>	
4 実施内容(手段)	28年度まで	(1)夜間急病センター管理運営委託(指定管理者制度):内科、小児科 午後7時～翌日午前7時 (2)夜間急病センター運営交付金:医師、看護師、事務職員等の人件費 (3)救急医療啓発普及事業委託:救急の日記念講演会 (4)急病医療負担金(在宅当番医制):内科、外科の在宅当番制 平日 午後5時～午後7時 土曜日 正午～午後7時 日曜日午前7時～午後7時、 土日を含む全曜日翌朝午前7時～午前9時、在宅当番医調整 (5)救急歯科医療負担金(在宅当番医制):在宅当番医調整
	29年度	(1)夜間急病センター管理運営委託(指定管理者制度):内科、小児科 午後7時～翌日午前7時 (2)夜間急病センター運営交付金:医師、看護師、事務職員等の人件費 (3)救急医療啓発普及事業委託:救急の日記念講演会 (4)急病医療負担金(在宅当番医制):内科、外科の在宅当番制 平日 午後5時～午後7時 土曜日 正午～午後7時 日曜日午前7時～午後7時、 土日を含む全曜日翌朝午前7時～午前9時、在宅当番医調整 (5)救急歯科医療負担金(在宅当番医制):在宅当番医調整

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
夜間急病センターの管理運営を支援 在宅当番医制の実施 救急医療啓発普及 休日の歯科救急の実施	・夜間急病センター患者数:1,418人 ・在宅当番医患者数 内科3,422人、外科742人 ・歯科の在宅当番医患者数39人 ・救急医療啓発普及事業: 平成28年9月17日に講演会を実施	夜間急病センターの管理運営を支援 在宅当番医制の実施 救急医療啓発普及 休日の歯科救急の実施 ※賃貸料は積算中	夜間急病センターの管理運営を支援 在宅当番医制の実施 救急医療啓発普及 休日の歯科救急の実施 ※賃貸料は積算中	夜間急病センターの管理運営を支援 在宅当番医制の実施 救急医療啓発普及 休日の歯科救急の実施 ※賃貸料は積算中	夜間急病センターの管理運営を支援 在宅当番医制の実施 救急医療啓発普及 休日の歯科救急の実施 ※賃貸料は積算中	夜間急病センターの管理運営を支援 在宅当番医制の実施 救急医療啓発普及 休日の歯科救急の実施 ※賃貸料は積算中	夜間急病センターの管理運営を支援 在宅当番医制の実施 救急医療啓発普及 休日の歯科救急の実施 ※賃貸料は積算中

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	市民の医療確保のため重要な事業であり、継続する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度			
決算額、当初予算額又は推進計画額		121,811	129,175	122,153	121,348			
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0		
		道支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	13,578	16,211	16,150	16,150		
		一般財源	108,233	112,964	106,003	105,198		
		① 合計	121,811	129,175	122,153	121,348		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	84	0	84	0	84	0
		総事業費①+④	121,895	129,259	122,237	121,432		

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①夜間急病センター受診者数	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値	1,418			
	②在宅当番医受診者数	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200
		実績値	4,164			
	③在宅当番医(歯科)受診者数	目標値	50	50	50	50
		実績値	39			
	④	目標値				
		実績値				
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	平日・夜間を問わず、医療機関の休診時間帯の診療を夜間急病センター及び在宅当番医制において実施しており市民の健康保持に寄与している。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	診療が必要な患者に対して適切な医療を提供できる体制を維持し市民が安心して救急医療を受けられるよう整備している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	救急医療を提供するため夜間急病センターでの嘱託医配置及び在宅当番医制により365日、24時間体制を敷くことで市民の安全・安心を図っており十分に成果は上がっている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	医師会との連携による効率的な医療提供体制を確立しており、添えに係るコストは適正である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 35

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	夜間急病協会交付金		
交付先の名称 及び代表者名	公益財団法人 北広島市夜間急病協会 理事長 鈴木 勝美	設立年	昭和56年
構成員(団体)数	1 (29年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	夜間における市民の急病に対し応急的な診療を行い、市民の健康維持に寄与する。		
交付先団体等の 活動内容	急病患者の応急的な診療に関する業務		
事務局の状況 (28年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	84,035	87,601	94,931	
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	84,035	87,601	94,931	
支 出	給料	20,969	21,334	21,313	
	職員手当、共済費	15,216	16,533	16,537	
	賃金	3,466	3,330	4,028	
	職員退職金	0	2,103	8,251	
	報償費	39,870	39,755	39,745	
	交通費	3,470	3,540	3,650	
	法人運営費	1,044	1,006	1,407	
	支 出 合 計 (C)	84,035	87,601	94,931	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	100%	100%	100%	
	補助・交付金の対象経費(項目)	事業費	事業費	事業費	
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	84,035	87,601	94,931	
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	100%	100%	100%	
	補助・交付金の算出根拠	①急病協会の職員に係る経費 ②急病センターの医師に係る経費 ③急病センターの運営に係る経費			